

安 全 情 報

～2011年上半期(1月から6月)中におけるカンボジア国内犯罪発生状況～

「自分の身は、自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

2011年上半期における犯罪発生状況

1 2011年上半期における犯罪発生総件数は、下記表のとおり1,584件(前年同期+101件、6.81%増)で、強盗・殺人等の凶悪犯罪が452件、窃盗、暴行・傷害等の軽犯罪が1132件でした。

凶悪犯罪自体は、前年同期-32件(6.61%減)と全体的には減少しているのですが、軽犯罪の発生件数が1132件と昨年同期と比べ+133件、13.31%増加しております。

2 中でも、増加傾向にある強姦事件については186件発生(前年同期+47件)しており、うち7件は強姦殺人です。また、軽犯罪においても窃盗、詐欺、暴行・傷害等すべての罪種が増加しています。

3 さらに、今期統計の特徴として前年同期では表記されていない傷害致死や性的虐待といった罪種が表記され発生件数を明確にしています。

このことは、発生件数を区分表記することで、未然防止策を講じる、又は犯人検挙に向けた捜査に重点をおくといった国家警察の取組みを表しているものと思料されます。

年間統計には、表記があるものの同期(上半期)統計では表記されていなかった。

確実に性犯罪は増加している。

No.	犯罪種別	2011年上半期	2010年上半期
	凶悪犯罪発生件数	452	484
1	強盗	119	173
2	殺人	140	170
3	強姦	186	139
4	手榴弾投擲等爆破	2	2
5	逮捕監禁・誘拐	5	0
	軽犯罪発生件数	1132	999
1	窃盗	459	397
2	詐欺	56	42
3	暴行・傷害	542	483
4	武器の不法所持	17	13
5	傷害致死	7	-
6	性的虐待	40	-
7	その他(違法賭博等)	11	64
	発生合計	1584	1483

4 地域別凶悪犯罪発生ワースト3、ベスト1

ア 強盗事件の発生は、ワースト プノンペン都30件、ワースト カンダール州17件、ワースト コンポート州10件で、発生件数の最も少ない地域はクラチェ州及びケプ市で、

それぞれ0件と都市部に発生が集中しています。

イ **殺人事件の発生**は、 バットンバン州 20 件、 プノンペン都 18 件、 カンダール州及び、 クラチェ州でそれぞれ 14 件、 発生件数の最も少ない地域はケープ市の 0 件でした。殺人事件の発生の特徴として、強盗事件や強姦事件の発生が少ない地域でも多発していることから殺人事件の発生は都市部に限ったものではないことが認められます。

特に、殺人事件のほとんどが、酒に酔った上でのもめ事が発端となって発生しています。

最近では都市部に限らず、地方でも人々が余暇を楽しむことができるよう酒を提供する店が増えたため、酒を飲んで酔った挙げ句、殺人事件になるといったケースが多発しているとのことでした。

ウ **強姦事件の発生**は、 プノンペン都 24 件、 コンポンチャム州 23 件(内 2 件は強姦殺人)、 バットンバン州 19 件、 発生件数の最も少ない地域はケープ市の 0 件でした。

今期強姦事件における特徴として、アンコール遺跡群の存在する観光地を管轄するシアマリアップ州警察管内における強姦事件の発生が 4 件と昨年同期 - 16 件であったことです。ただ、残念なことに昨年同期には発生していない強姦殺人事件 1 件が発生しています。

同州の強姦事件の減少理由につき国家警察に確認したところ、シアマリアップ州警察の地域に根ざした警察活動の結果であるとのことでした。

2011年上半期各種事故・事案発生状況

- 2011年上半期における各種事故・事案発生状況は、下記表のとおり合計 3896 件(昨年同期 - 207 件、5.05%減)を認知しており、昨年同期に比べ火災以外のすべての事故・事案が減少しています。
- また、これらの各種事故・事案により 1715 人が死亡、5268 人が負傷しています。
この中には、交通事故による死傷数も含まれており 1100 人が死亡、5147 人が負傷しています。
- 火災により 2 人が死亡し 305 軒の家屋が焼失し、さらに強風により 215 軒の家屋が倒壊(除く、屋根の損壊 50 軒)しています。

No.	事故種別	2011年上半期	2010年上半期
1	交通事故	2945	3040
2	地雷等爆破事故	39	43
3	火災	262	247
4	落雷	62	78
5	自殺	216	270
6	その他	372	425
発生合計		3896	4103

4 地域別事故発生状況ワースト 3、ベスト 1

ア **交通事故の発生**は、 カンダール州 323 件(死者 85 人、負傷者 589 人)、 コンポンチャム州 290 件(死者 134 人、負傷者 405 人)、 バットンバン州 273 件(死者 60 人、負傷

者 503 人)と発生しており、発生件数の最も少ない地域は、ケープ市で 15 件(死者 1 人、負傷者 26 人)発生しています。

参考として、首都プノンペンがワースト 4 位で 260 件(死者 119 人、負傷者 448 人)発生し、アンコール遺跡群の存在するシアムリアップ州はワースト 12 位で 115 件(死者 64 人、負傷者 173 人)、さらにカンボジアのリゾート地シハヌークビル市はワースト 10 位で 128 件(死者 64 人、負傷者 257 人)発生しています。

イ 火災の発生は、コンポンチャム州 39 件(焼失家屋 50 軒)、プノンペン都 28 件(焼失家屋 83 軒)、クラチェ州 26 件(死者 1 人、焼失家屋 25 軒)と発生しており、発生件数の最も少ない地域はタケオ州で 0 件でした。

参考として、シアムリアップ州は、ワースト 8 位タイで 10 件(焼失家屋 12 軒)発生し、シハヌークビル市はワースト 10 位タイで 6 件(焼失家屋 6 軒)発生しています。

ウ 地雷等爆発物事故の発生は、バタンバン州 16 件(死者 19 人、負傷者 20 人)、カンドール州 5 件(死者 5 人、負傷者 0 人)、オドミーエンチャイ州 3 件(死者 3 人、負傷者 0 人)と発生しており、バタンバン州は、毎年地元民が地雷の被害に遭っております。

地雷等内戦の遺物による爆破事故は、毎年数十件発生しています。地雷マークを無視することなく、むやみやたらと人気のない場所へは立ち入らないで下さい。

カンボジアが、安全になったとはいえ犯罪の発生は皆無ではありません。海外では特に注意し危険な場所には近づかない。多額の現金、貴重品は持ち歩かない。犯罪にあっても抵抗しない。見知らぬ人を安易に信用しない。買い物は信用のおける店を選ぶ。ホテルの中でも安心しない。など防犯に心掛けて下さい。(了)